

静岡県漁業協同組合連合会

1098 静岡市追手町 9-18
16.6.25 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 本会・県信漁連 第55回通常総会を開催

本会では、去る6月21日第55回通常総会を開催しました。

当日は、西川会長の挨拶のあと、鈴木県副知事、八木県議会副議長の来賓祝辞、祝電披露に続いて、両連合会から漁協系統における永年勤続者に対する感謝状が4名の方々に贈呈されました。次に佐々木下田市漁協長が議長となり、平成15年度事業報告、平成16年度事業計画等10議案が審議されいずれも原案どおり可決承認され、続いて2件の報告が行われました。

なお、本年は役員任期満了に伴う選挙を行いました。理事10人、監事3人は無投票で決定し、引き続き開催された理事会、監事会において会長等の選任を行い次のとおり決定しました。

代表理事会長：西川徳市(焼津) 代表理事副会長：原田正敏(内浦) 代表理事専務：大崎幸三(員外) 理事：根崎 梓(伊東市)、近藤鶴男(稲取)、近藤 安(安良里)、宮城島昌典(清水)、橋ヶ谷善生(小川)、石津敏夫(地頭方)、星川壽美雄(浜名) 代表監事：久米 勇(吉田町) 監事：清田兼雄(南伊豆町)、外山廣文(田子の浦)

また、当日は本会の総会に引き続き、県信漁連の第55回通常総会が開催され、佐藤会長の挨拶のあと、平成15年度系統信用事業功労者2名の表彰があり、北村県農業水産部長、秋田農林中金静岡支店長の来賓祝辞、祝電披露に続いて、宮城島清水漁協長が議長となり、平成15年度事業報告、平成16年度事業計画等11議案が審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。

なお、任期満了に伴う役員選挙の結果、理事は定員10名に対し9名が、監事は定員5名に対し5名が決定しました。なお、理事欠員1名の再選挙は来る7月7日に行うことになりました。

総会後の理事会において、会長・副会長は再選挙後の次回理事会にて選任する、専務理事には山崎理事を選任し、会長・副会長が選任されるまで会長職務執行者となることを決定しました。なお、役員は以下のとおりです。

専務理事：山崎直樹(員外) 理事：佐々木源也(下田市)、齋藤元久(松崎町)、小松隆男(網代港)、宮原淳一(由比港)、伊藤 優(焼津)、谷澤輝雄(大井川町)、名波源四郎(相良町)、星川壽美雄(浜名) 代表幹事：鈴木一義(仁科浜) 監事：小林稲雄(戸田)、吉村長治(御前崎)、員外監事：鍋田芳久、常勤監事：今村昌之 (敬称略)

2. 海の子フェスタ事業 海の探検隊開催

海の子フェスタ実行委員会では、去る6月19日新焼津漁港内の深層水ミュージアムにおいて海の子フェスタ事業の一環である「海の探検隊」を開催しました。

当日は、一般公募により地元焼津市内を中心として申込みのあった小学生とその父兄を対象に約70名が、「深層水のなぞにせまる」をテーマに、駿河湾深層水の特性や利活用

について親子で理解を深め学びました。

同ミュージアム内のシアターでは鈴木館長が講師となり参加した児童にわかり易く深層水について説明を行い、また、県、焼津市の深層水課の職員により、普段は立ち入ることができない地下10m余の深層水給水施設などを見学し、説明を受けました。このほか、同館2階の研修室では、県水産試験場増元主任研究員等が講師となり深層水の持つ特性を利用した商品の紹介や和菓子の試食をするとともに、和やかな雰囲気の中に参加者全員により豆乳から深層水を利用した豆腐作りにも挑戦し、出来た豆腐を試食したほか、深層水から作った塩と一般に市販されている食塩との味の違いを確かめて、深層水が含むミネラルを実感しました。

3. 富士川本流からコイの持ち出し禁止

全国各地の河川等では、水温上昇に伴いKHV(コイヘルペスウイルス)病によるコイの死亡が多発し、6月16日現在で30都府県、昨年からの通算で33都府県におよんでおり、本県に隣接する山梨県でも、平成16年5月中旬以降、富士川水系でKHV病によるコイの死亡が相次ぎ富士川下流にある本県でもKHV病の発生が懸念されます。

このため、県内水面漁場管理委員会は6月22日付けで「コイヘルペスウイルス病のまん延防止に係わる委員会指示」を発令し、県知事は、同日付けで富士川本流をコイの持ち出し禁止水域に指定しました。

これにより、平成16年6月22日から平成17年3月31日までの間、富士川本流から生きたままコイを持ち出すことが禁止されるとともに、県内全ての内水面(河川等)においても、コイの放流が制限されコイの遺棄も禁止されました。

このKHV病は人には感染しないため、仮に感染したコイを食べても人体に影響はありません。また、コイの大量斃死や異常を発見された場合は県水産資源室栽培養殖スタッフ(TEL:054-221-2741)まで連絡してください。

4. JFバッテリーシリーズ発売開始

JF全漁連購買事業部では、このほど古河電池(株)が製造する「安心・安全・環境・資源」の4つのキーワードに則した船舶対応ハイブリッドバッテリー「JFバッテリーシリーズ」の販売を始めました。

船舶専用として開発されたJFバッテリーは、容量アップで長寿命化を実現 防爆栓の採用により安全性に配慮 船舶専用付属端子付き 船舶対応取扱説明書の添付の4大特徴をっています。

これまで漁船に搭載されるバッテリーは、トラック用バッテリーを転用することが多く、品質・価格ともに千差万別であり、必ずしも常に潮風をうける海上使用に対応した製品が利用されているとはいえない状況でした。これらの問題点にJFグループがトータルで取り組むことにより改善しようと企画されたのがJFバッテリーです。また、JFバッテリーを取り扱う漁協等には「使用済みバッテリー無料回収箱」が設置される予定です。

問合せ先：県漁連購買部資材課 054-252-5154

5. 諸会議・日程 (6月29日(火)~7月12日(月))

7月9日(金) 県漁連 = 相良地区2漁協合併推進協議会 (相良町役場)